# 2019(令和元)年度

# 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会 イノベーション教育(グローバル・ICT 活用)研究部会 実施案内

一般財団法人日本私学教育研究所 主催 / 日本私立中学高等学校連合会 後援

# ◆ 研究のねらい ◆

# 変容する社会に対応する教育へのチャレンジ

当部会では、急速に変化するグローバル社会の中で世界に先駆けて私学が教育の先鞭をつけて行くために、 教育のイノベーションを研究することを目的としている。昨年度は学校外の視点からもヒントを得て、急激 に変化する社会を、子どもたちがどう生き抜くのかについて考察を深めた。

今年度は、始めに神戸大学学術・産業イノベーション創造本部/大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」准教授の鶴田宏樹氏、神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」特命助教の祗園景子氏を講師に迎え基調講演を行い、神戸大学におけるイノベーション人材育成の取り組みについて知り、今日の教育現場に求められていることを理解する。本間達朗・工学院大学附属中学高等学校情報科講師/Wiley-JAPAN Knewton 日本担当ディレクターによるワークショップでは、ICT の活用が教育の中でいかに有用かを実践的に考える。参加者同士の意見交換の時間も設け、最後に福原将之・株式会社 FlipSilverlining 代表取締役によるラップアップを行い、研修会を振り返る。

これらのプログラムを通して、希望に溢れる子どもたちの未来のためにどのような教育が必要なのか 考察する。そして学校という場において新たな教育はどのように取り入れられるのかをイメージし、「進化」と「深化」を続ける私学教育を目指す。

当研修会が新しい社会に向けた教育のあり方を考える一助となれば幸いである。

- ◆会 期◆ **令和元年 11 月 8 日** (金)
- ◆会 場◆ ANA クラウンプラザホテル神戸 兵庫県神戸市中央区北野町1(JR 山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結)
- ◆募集人数◆ 50 名
- ◆参加対象◆ 理事長、校長、副校長・教頭、グローバル・ICT・キャリア教育等担当及び一般の教員
  ※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校
- ◆参 加 費◆ 17,000 円 (昼食費含む)
- ◆基調講演◆ 演題 「課題解決・価値創造の『考え方の考え方』|

**講師 鶴田宏樹** 神戸大学学術・産業イノベーション創造本部/大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 准教授 **祗園景子** 神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 特命助教

◆ワークショップ◆ テーマ 「学習の個別最適化と探究型学習の実践について」(仮)

講師 本間達朗 工学院大学附属中学高等学校 情報科講師/Wiley-JAPAN Knewton 日本担当ディレクター

- ◆ラップアップ◆ 講師 福原将之 株式会社 FlipSilverlining 代表取締役/教育・ICT コンサルタント
- ◆日 程◆ ※プログラムは変更となる場合がございます。

時刻	9 3		0 11	12	13	3 14	1	5	16 .5 4	17 15
11月8日 (金)	受付	開会式	基調講演+体験講座		昼食	ワークシ	ヨップ	意見交換会	ラップアップ	閉会式

#### ◆基調講演◆

#### ☆演題 「課題解決・価値創造の『考え方の考え方』|

講演に加え、道場「未来社会創造研究会」の取り組みを学ぶ体験講座も実施します。

#### 講師 鶴田 宏樹(つるた ひろき)

神戸大学学術・産業イノベーション創造本部/大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 准教授 **祗園 景子(ぎお**ん けいこ)

神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 特命助教

鶴田宏樹:1999 年博士(農学)取得、2000 年日本学術振興会特別研究員。2002 年神戸大学共同研究開発センター(現:学術・産業イノベーション創造本部)助手、2005 年神戸大学連携創造センター(現:学術・産業イノベーション創造本部)准教授。2016 年神戸大学大学院工学研究科准教授(兼務)。

祗園景子:2002 年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程前期課程修了、2004 年神戸大学遺伝子実験センター教務補佐員。2008 年サントリーホールディングス株式会社植物科学研究所研究員。2011 年博士(工学)取得、TLO ひょうごコーディネーター、神戸大学大学院医学研究科特命助教、滋賀医科大学バイオメディカル・イノベーションセンター特任助教等を経て2016年神戸大学大学院工学研究科特命助教。

#### ◆ワークショップ◆

#### ☆テーマ 「学習の個別最適化と探究型学習の実践について」(仮)

#### 講師 本間 達朗(ほんま たつろう)

工学院大学附属中学高等学校 情報科講師/Wiley-JAPAN Knewton 日本担当ディレクター

本間達朗: IBM でのソフトウェアエンジニア職を経て現職。一人ひとりの情熱と能力に応じた学習を実現すべく、アダプティブ・ラーニングのプラットフォームである Knewton の日本担当ディレクターとして日本のパートナーを支援。並行して工学院大学附属高等学校で情報科講師とて教壇に立ち、日本語・英語で授業を実践し、高校生の IT リテラシーや情報活用能力の向上に努めている。

#### <ワークショップ概要>

適応学習(Adaptive Learning)についての概要やその効果について、Knewton の事例を踏まえて紹介する。また知識・理解の向上だけでなく、一人ひとりの思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育むための実践として、デジタル作品制作の授業実践事例を紹介する。この事例を生徒が自ら学び自ら考える学習(探求学習)として位置づけ、参加者にも実際に授業計画を作成して頂き、これを支えるために生徒や教員がICTをいかに活用できるかという観点で議論する。

#### ◆意見交換会◆

☆グループに分かれて、参加者同士による意見交換会を行います。

※司会をお願いする場合がございます。ご連絡のため、メールアドレスは必ずご記入下さい。

#### ◆ラップアップ◆

#### 講師 福原 将之(ふくはら まさゆき)

株式会社 FlipSilverlining 代表取締役/教育・ICT コンサルタント

福原将之:1982 年生まれ、理学修士。東京大学大学院を修了後、ICTを活用した科学教育の可能性を模索し、物理教育のアプリ開発に従事。IT企業の取締役最高技術責任者・経営コンサルタントを経て、2013 年 10 月に株式会社 FlipSilverlining を設立。 ICT 教育支援アプリの開発や科学・プログラミングを題材にしたオリジナル教材の開発、宇宙・天文教室・サイエンスカフェの開催などを行う傍ら、小学校・中学校・高校の教育コンサルタントとしてアクティブ・ラーニングと ICT の導入を精力的に支援している。首都圏模試センター・データサイエンスフェロー、GLICC フェロー。

※インターネットが利用できる、スマートフォン・タブレット等のデバイスを使用する場合がございますので、 ご持参頂きますようお願い申し上げます。会場では無料 Wi-Fi が使用できます。

#### ◆講師・指導員(順不同)◆

鶴 田 宏 樹(神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部/大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 准教授)

祗 園 景 子(神戸大学大学院工学研究科道場「未来社会創造研究会」 特命助教)

本 間 達 朗(工学院大学附属中学高等学校 情報科講師/Wiley-JAPAN Knewton 日本担当ディレクター)

福 原 将 之(株式会社 FlipSilverlining 代表取締役/教育・ICT コンサルタント)

吉田晋(富士見丘中学高等学校 理事長・校長)

中 川 武 夫 (一般財団法人日本私学教育研究所 所長)

#### ◆専門委員・客員研究員・指導員(順不同)◆

平 方 邦 行 (工学院大学附属中学高等学校 校長)

大 羽 克 弘 (千葉英和高等学校 理事長・校長)

須 藤 勉(東京私学教育研究所 所長)

山 中 幸 平 (学校法人山中学園 理事長)

原 田 賢 幸(学校法人原田学園 理事長)

川 本 芳 久(一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長)

#### ◆会場案内◆

## ANA クラウンプラザホテル神戸

兵庫県神戸市中央区北野町 1 (JR 山陽新幹線 • 神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結) 078-291-1121(代)

※JR山陽新幹線新神戸駅改札口からコンコースを直進し、

突き当たり左側の連絡橋を渡ってすぐ

## ANAクラウンプラザホテル神戸 神戸布引ハーブ園/ローブウェ 異人館 ■ O STREET, ER 至西宫 CONTRACTOR OF STATE OF THE STATE OF 京橋I.C

所等級所拍声取

### ◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。 お電話での申込みは受け付けません。

①申込み先 / 一般財団法人日本私学教育研究所・私立学校専門研修会担当 宛 〒102-00073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷 UN ビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX03-3222-1683 ホームページ http://www.shigaku.or.jp/

②申込み締切日 令和元年 10 月 25 日 (金) 必着

- 2. 申込みは先着順に受け付けます。募集人数をこえた場合は期日前でも締切りとなることがあります。 (申込みを締め切った場合は当研究所ホームページでお知らせ致します。)
- 3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送り致します。 「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。 ※申込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

## ◆参加申込後の手続きおよび注意事項◆

- 1. 参加費は、「参加費等請求書」(コンビニ払込用紙)払込用紙で、指定されたコンビニエンスストアで 10 月 31 日 (木) までにお振り込み下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせて 頂きますので、大切に保管して下さい。
- 2. 参加申込み後のキャンセル・欠席等については、必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。
  - ①キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信致します。
  - ②変更の場合は、「参加確認証(再発行)」を郵送致します。
  - ご連絡後に上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。
- 参加費の返金・キャンセル料は下記の取り扱いと致します。

10月31日	(木)迄のご連絡	11 月 1 日 (金) 以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1	,000 円を差引いた	参加費の返金はできません。研修会資料等の発送をもって代えさせて頂きます。
参加費を返金	致します。	参加費未払いの場合は、キャンセル料をして全額(17,000円)を申し受けます。
		天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相
		談下さい。

#### ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を 遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な 書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加され る先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用致します。

#### ◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい

2019(令和元)年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

【申込締切日:10月25日(金)必着】

\_年\_\_月\_\_日

# イノベーション教育【グローバル・ICT 活用】研究部会参加申込書

	(ふりがな)	職名					
参加者氏名	「男 」 女						
		担当教科					
参加者連絡先							
	☆ <u>緊急の場合</u> 、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。						
		校務分掌					
メールアドレス*	(必須)						
	(ふりかな)	職名					
参加者氏名	(男 女						
		担当教科					
参加者連絡先							
	☆ <u>緊急の場合</u> 、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。						
		校務分掌					
メールアドレス*	(必須)						
	T						
学校(法人)名							
	〒						
学校住所							
0.1-7/41-7-1.1-2-1.	TEL ( ) FAX ( )						
〇上記参加者本人または学校任例	T以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。						
	※興味をお持ちのテーマに○をつけてください。   1.イノベーション人材育成 2.PBL 3.グローバル 4. ICT 活用 5.AI・IoT 6.7	アントレプレナーシップ教育					
	※講演・ワークショップについて、質問事項等がございましたらご記入下さい。 時間の都合上、ご記入いただいた質問に回答できない場合もございます。ご了承ください。						
77.4	く 講演について ・ ワークショップについて > ※どちらかに	) うをつけてください。					
アンケート							
I 通信欄							
<b>⊘</b> F	AX または郵送でお申込み下さい。						

<sup>\*</sup>意見交換会にて、司会をお願いする場合がございます。メールアドレスは必ずご記入下さい。今後の研修会のご案内等をメール配信する場合もございます。 3名以上の申込みの場合は本申込書をコピーしてお申し込み下さい。